

第4学年社会科 学習指導案

令和元年11月13日(水) 5校時

東中筋小4年 12名(男子7名 女子5名)

授業者 弘瀬 栄美

1 単元名 昔から今へと続くまちづくり (地域教材 16時間扱い)

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領第4学年の内容(4) 県内の伝統や文化、先人の働きについて、学習の問題を迫り・解決する活動を通して、次の事項を身につけることができるよう指導する。
ア 次のような知識及び技能を身につけること。(イ) 地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解すること。(ウ) 見学・調査したり、地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身につけること。(イ) 当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現すること。に基づいて設定された単元である。

本単元では、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を調べ、地域の人々のくらしの向上に尽くした先人の働きや苦心を考えさせる。東中筋地域は昔から水害に悩まされ、低湿地の農業基盤が地域の暮らしの向上を阻んできた。地域の人々の願いは洪水から農地を守ることであり、農業生産高を上げていくことであった。江戸時代の奉行野中兼山が中筋川の工事をし洪水被害を軽減しようとするのと共に土地のかさ上げをしようとしたこと、明治時代東中筋村長になった中平重虎が私財を投げ打って、地域の暮らしの向上のために湿地でも育成できるコリヤナギの生産を奨励し、やがて柳行李の生産と出荷により産業として確立され地域住民の生活が向上したこと、中筋川や四万十川の洪水被害を減らすために、合流点の付け替え工事(背割堤防の建設)、中筋川の改修など大規模な土木工事によって、次第に洪水が減ってきたこと、今後の洪水対策のためにダムや排水機場の整備が進んでいることなどを、見学や体験、資料などから読み取り昔からの地域の発展に尽くそうとした先人の働きや苦勞を学習していく。

(2) 児童観

本学級の児童は、1学期に「安全・健康なくらしとまちづくり」の学習で、事故や災害、廃棄物の処理という課題に接し、関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の工夫、健康な生活を営むための対策や事業について考えてきた。施設見学では、直接話を聞いたり質問したりすることで、身近で働く人々の仕事と地域への思いや願いを知ることができた。しかし、調べてきたことを比較したり関連付けたりして考えることや課題意識をもって追求する力はまだ十分であるとは言えない。また、資料を読み取る力や、考えたことを表現する力には個人差があると言える。

自分たちの身近な川である中筋川についてのイメージを聞いてみると、「生き物がたくさんいる」「流れが穏やか」「地域の自慢」といった意見が多く、地域に愛着をもって生活していることが分かる。しかし、3年生の時に行った防災学習の中で、地域の方をゲストティーチャーに迎え、昔は堤防がなく洪水に悩まされてきたことについては知っているが、中筋川流域の人々の苦勞がどんなものだったか、どのようにして堤防が作られ、整備され、現在に至っているかについてはほとんどの児童が知らない。

(3) 指導観

指導に当たっては、昔から中筋川や四万十川の洪水被害に悩む地域の人々の願いから、その生活実態や産業基盤を何とか改善しようとした先人の功績や苦勞について、歴史年表や地図、

学校前の石碑などを手掛かりに考えさせる。また、地域の人のお話や体験、国土交通省中村河川国道事務所の見学を通して、自分の目で見、聴く学習を重視しながら、生活の向上や洪水被害を減らすために人々が長い年月と苦労を重ねて取り組んできたことを考えさせたい。そして、今のような産業基盤や河川管理も、地域の発展のために尽くした先人たちの功績であり、現在の土木技術の粋であることを捉えさせる。最後には、今後も想定外の大雨から人命、財産、作物を守り、洪水被害を最小限に食い止める取り組みが継続して行われていることや、それは地域の人々をはじめ様々な人が関わって行っていることを考えさせたい。そして、ふるさとの川を環境の保全と併せて、いかに地域の川として将来的にも親しんいけるような心情につなげていかせたい。

3 単元の目標

地域の発展に尽くした先人の具体的事例を調べ、地域の人々のくらしの向上に尽くした先人の働きや苦心を考える。

4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象について の知識・理解
・地域の昔の人々の悩みや願いを知り、先人たちが苦労して洪水被害を減らそうと努力し、生活を豊かにしようとしていることに関心を持ち、意欲的に考えようとしている。	・地域住民の願いと、先人たちの業績を関連付けて考え、水害の被害減少と生産高の向上につなげていったことを適切に表現している。	・見学や体験における提示写真、年表や地図、資料やグラフなどを適切に読み取り学習に活用している。	・中筋川の水害をなくし、人命、農地や財産を守るために、また地域の人々の暮らしを高めていくために、昔から先人が苦労や努力をしながら、作り上げてきていることを理解している。

5 指導計画

時	学習活動	主な評価規準
1	・中筋川の歴史年表をもとに、歴史的事実を読み取り、地域の人々の苦しみや願いを考える。	【関】 地域の昔の様子や人々のくらしに関心を持ち、意欲的に考えようとしている。(発)(行) 【思】 歴史年表から中筋川流域の地域住民の悩みを考えることができる。(発)(行)
2	・中筋川の古地図をもとに、中筋川の地形の特徴を捉え歴史年表と併せて、歴史的事実を読み取り、地域の人々の苦しみや願いを考える。	【技】 中筋川の古地図を現代の地図に合わせて読み取ることができる。(発)(行)
3	・洪水を防ぎ、農地を守るために野中兼山が行った中筋川の直線化について知る。	【思】 東中筋地域住民の願いと、野中兼山の業績を関連付けて考えている。(発)(ノ)
4	・水害に悩まされ稲の生産に向いていない土地で、地域の住民の生活をよくするために柳の栽培を進めていった中平重虎の業績を知る。	【関】 石碑に書かれている内容に興味関心を持ち、中平重虎が住民の暮らしを考え私財を投げうって柳の栽培を勧めていったことを意欲的に考えようとしている。(発)(ノ)

5 6	<ul style="list-style-type: none"> 柳の栽培や、柳行李の生産体験のある方のお話を聞いたり、実際に皮はぎ体験をしたりしながら、柳栽培や柳行李の生産の苦労を知る。 	<p>【思】中平重虎が、地域住民の暮らしを良くするために柳の栽培に目をつけ、苦心して広めようとしたことや、その思いを考えている。(発)(行)(ノ)</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> 中平重虎の業績についてまとめる。人々の暮らしの高まりをグラフから読み取る。 	<p>【知】柳行李の生産によって地域の人々の経済力は高まっていったことを理解している。(発)(ノ)</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> 歴史年表から、大正、昭和時代になっても繰り返される洪水被害があり、その原因について四万十川本流と中筋川の関係があることを知る。 	<p>【関】中筋川の洪水の原因について科学的見地から関心を持っている。(発)(ノ)</p> <p>【知】中筋川の洪水の原因を科学的に理解している。(ノ)(テ)</p>
9 10	<ul style="list-style-type: none"> 土木技術の発達により、四万十川(渡川)の改修計画が進み、四万十川(渡川)と中筋川の合流点の変更などの大規模な土木工事が行われた。 中筋川の堤防のかさ上げ、流路変更、拡幅などいろいろな土木技術を駆使して洪水を防ごうとしている。 	<p>【関】中筋川の氾濫による洪水被害を減らすために大規模な土木工事が行われたことを興味を持って意欲的に学習している。(発)(ノ)</p> <p>【知】合流地点の付け替えや背割り堤防の建設など大規模な土木工事によって中筋川の洪水被害の減少につながっていったことを理解している。(発)(ノ)(テ)</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> 中筋川の堤防をかさ上げしたり、拡幅したり、河床掘削したりしながら、中筋川の水があふれず、流れやすくする工事が継続して行われてきたことをまとめる。 	<p>【思】国土交通省中村河川国道事務所で学んだ中筋川の改修工事について、目的や、方法等についてまとめ、適切に表現している。(発)(ノ)</p>
12 本時	<ul style="list-style-type: none"> 四万十川との合流地点の変更は大規模な土木工事であったが、それによって四万十川の水が中筋川に逆流することが減ったことをまとめる。 	<p>【思】国土交通省中村河川国道事務所で学んだ中筋川と四万十川の合流点の変更について、目的や、方法等についてまとめ、適切に表現している。(発)(ノ)</p>
13	<ul style="list-style-type: none"> 土地改良した地図を見ながら、農業環境の向上について考えると共に、農業生産高のグラフから農業生産も多くなってきたことを捉える。 	<p>【思】中筋川の改修、土地区画整理などによって、次第に農業環境が整い、生産高も上がっていくことを読み取っている。(発)(ノ)</p>
14	<ul style="list-style-type: none"> 今後の大雨に備えるために中筋川ダムや横瀬川のダムの建設により洪水調節をしようとしていることを知る。また、排水機場の設置により内水のくみ上げの工夫を知る。 	<p>【思】中筋川ダム、横瀬川ダムの働きについてまとめ、適切に表現している。また、排水機場の働きと地域の人々とのかわりについて考えている。(発)(ノ)</p>
15	<ul style="list-style-type: none"> 排水機場に設置されているポンプの仕組みと、働きを知る。 	<p>【知】排水機場のポンプの仕組みについて理解している。(発)(ノ)</p>
16	<ul style="list-style-type: none"> まとめのテストを行い、この単元を学習しての感想を書く。 	<p>【知】中筋川の水害をなくし、人命、農地や財産を守るために、また地域の人々の暮らしを高めていくために、昔から先人が苦労や努力をしながら、作り上げてきていることを知る。(テ)</p>

6 本時の学習（12／16）

（1）目標

国土交通省中村河川国道事務所で見たり、聞いたりしたことを整理しながら今まで学習してきたことを合わせて考えながら適切にまとめることができる。

（2）評価規準

【思】国土交通省中村河川国道事務所で学んだ中筋川と四万十川の合流点の変更について、目的や、方法等についてまとめ、適切に表現している。（発）（ノ）

（3）展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点（○） 評価（☆）支援（※）
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">聞き取ったことをもとに、中筋川と四万十川の合流点の変更についてまとめよう。</div>	
<p>2 課題を解決する。</p> <p>（1）班ごとの視点に沿って分かったことをまとめ、グルーピングする。</p> <p>①合流点を変更した理由について ②工事の方法について ③工事の苦労について ④工事の後どう変わったかについて</p> <p>（2）班で出し合ったことを発表し、全体で共有する。 （発表→質問）×4班</p>	<p>○事前に聞き取って分かったことを付箋に書いておき、それをもとに班ごとの視点でまとめるようにする。</p> <p>○大事な事をしぼってまとめ、ホワイトボードに書くよう声を掛ける。その中でも一番大事なことを決め、赤で囲むように伝える。 ※調べてきたことを出し合う時、見学で取ったメモを見ながら話し合いをするように指導する。</p> <p>○見学から学んだことが視点に沿っているかどうか確かめさ、意見を出し合わせる。 ☆見学で分かったことを視点に沿って出し合い、整理してまとめ表現している。【思】</p> <p>○それぞれの班の発表を聞き、気になる事を話し合わせる。</p> <p>○自分のメモと見比べながら聞くように指導する。 ※見学した時の見た写真を用意しておく。</p>
<p>3 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">四万十川と中筋川の合流点の変更の工事は、中筋川の洪水を減らすために長い年月と多額の費用、当時最新の技術を持って行われ、工事の苦労は大変なものだった。しかし、工事の結果、四万十川からの逆流も減り、中筋川流域の洪水被害の減少につながった。</div>	
<p>4 学習の振り返りをする。 ・まとめた感想を書く。</p>	<p>○中筋川の洪水被害が減少して、その後生産高や、農業基盤整備の進展に繋がっていくことを予告する。</p>

(4) 板書計画

めあて

聞き取ったことをもとに、中筋川と四万十川の合流点の変更についてまとめよう。

中筋川と四万十川の合流点の変更工事について調べたこと

1 理由

・
・

2 工事方法

・
・

3 苦勞

・
・

4 どう変わったか

・
・

付箋

付箋

付箋

付箋

まとめ

四万十川と中筋川の合流点の変更の工事は、中筋川の洪水を減らすために長い年月と多額の費用、当時最新の技術を持って行われ、工事の苦勞は大変なものだった。しかし、工事の結果、四万十川からの逆流も減り、中筋川流域の洪水被害の減少につながった。